

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和2年2月14日

【四半期会計期間】 第70期第3四半期(自 令和元年10月1日 至 令和元年12月31日)

【会社名】 イワブチ株式会社

【英訳名】 IWABUCHI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 内田 秀吾

【本店の所在の場所】 千葉県松戸市上本郷167番地

【電話番号】 047-368-2222(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長兼総務部長 遠藤 雅道

【最寄りの連絡場所】 千葉県松戸市上本郷167番地

【電話番号】 047-368-2222(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長兼総務部長 遠藤 雅道

【縦覧に供する場所】 イワブチ株式会社 名古屋支店  
(名古屋市中区新栄一丁目32番33号)

イワブチ株式会社 大阪支店  
(大阪市淀川区田川北二丁目5番20号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第3四半期連結 累計期間	第70期 第3四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成30年4月1日 至平成30年12月31日	自平成31年4月1日 至令和元年12月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日
売上高 (千円)	7,316,009	7,331,199	9,863,095
経常利益 (千円)	170,279	429,179	282,590
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	98,149	568,480	146,543
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	32,226	607,045	31,040
純資産額 (千円)	15,541,314	15,996,769	15,604,580
総資産額 (千円)	19,276,514	19,865,476	19,291,989
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	91.36	529.17	136.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	80.17	80.07	80.43

回次	第69期 第3四半期連結 会計期間	第70期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成30年10月1日 至平成30年12月31日	自令和元年10月1日 至令和元年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	104.77	403.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業収益など景気の緩やかな回復基調が続いていますが、消費税増税や自然災害、米中貿易摩擦等による経済への影響により、景気の先行きは一段と不透明感が増しております。

当社グループの大口需要家であります電力会社においては、発電コスト増加の影響に加え、新電力との競争力の確保や、送配電部門の法的分離に向けた経営基盤の強化などから、更なる経営合理化の推進による設備投資の抑制やコスト削減要請が続いています。また、通信関連においても、当社グループに関連した設備投資は抑制傾向となっており、厳しい受注環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、新規マーケットの開拓をはじめ、新製品の開発・販売、グループ会社とのシナジーによる新ビジネスの展開を進めてまいりました。また、各部門の事業活動プロセスを見直し、業務改善・プロセス改革を推進しコスト低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,331百万円と前年同期に比べ15百万円、0.2%の増収となりました。営業利益は339百万円と前年同期に比べ264百万円、352.6%の増益、経常利益は429百万円と前年同期に比べ258百万円、152.0%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は568百万円と前年同期に比べ470百万円、479.2%の増益となりました。

セグメントに代わる需要分野別の経営成績は、次のとおりであります。

#### 交通信号・標識・学校体育施設関連

学校体育施設関連は、新製品の投入などにより全国的に堅調に推移しました。標識関連についても東京オリンピック・パラリンピックに向けた道路標識の整備工事が実施されており、堅調に推移しました。しかしながら、交通信号関連は、台風災害の影響等もあり低調となりました。その結果、売上高は863百万円と前年同期に比べ27百万円、3.0%の減収となりました。

#### ブロードバンド・防災無線関連

ブロードバンド関連は、4K・8K放送に向けた工事が各地で実施され、好調に推移しました。また、防災無線関連も、デジタル化への更新工事が実施されたことや、新製品の導入もあり、好調に推移しました。その結果、売上高は994百万円と前年同期に比べ132百万円、15.3%の増収となりました。

#### 情報通信・電話関連

情報通信・電話関連は、移動体基地局建設工事は堅調に推移しましたが、光伝送路工事や支持物建替え工事など当社グループに関連した設備投資が抑制され、低調に推移しました。その結果、売上高は1,448百万円と前年同期に比べ140百万円、8.9%の減収となりました。

#### 配電線路関連

配電線路関連は、電力会社では経営基盤強化に向けた調達見直しの推進や台風災害の影響など、厳しい受注環境の中、新製品の投入をはじめ積極的な営業活動を実施してまいりました。その結果、売上高は2,610百万円と前年同期に比べ17百万円、0.7%の増収となりました。

#### その他

鉄道関連は、安全対策工事が実施され、堅調に推移しました。一般民需、公共工事関連は、政府の積極的な経済政策による民間設備投資や、街路灯・防犯灯LED化を中心としたセキュリティ関連工事などにより、好調に推移しました。その結果、売上高は1,413百万円と前年同期に比べ33百万円、2.4%の増収となりました。

(2) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ573百万円増加し、19,865百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ892百万円増加し、12,471百万円となりました。これは、主に現金及び預金が565百万円、商品及び製品が259百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ318百万円減少し、7,394百万円となりました。これは、主に有形固定資産が384百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ181百万円増加し、3,868百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が178百万円、未払法人税等が120百万円増加したことと、賞与引当金が107百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ392百万円増加し、15,996百万円となりました。これは、主に利益剰余金が353百万円増加したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、130百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (令和元年12月31日)	提出日現在発行数(株) (令和2年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,100,000	1,100,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	1,100,000	1,100,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
令和元年10月1日～ 令和元年12月31日		1,100,000		1,496,950		1,210,656

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(令和元年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

令和元年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 25,700		
	(相互保有株式) 普通株式 5,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,068,200	10,682	
単元未満株式	普通株式 800		
発行済株式総数	1,100,000		
総株主の議決権		10,682	

(注) 上記「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

令和元年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イワブチ(株)	千葉県松戸市上本郷 167番地	25,700		25,700	2.34
(相互保有株式) 富田鉄工(株)	千葉県松戸市上本郷 97番地1号	5,300		5,300	0.48
計		31,000		31,000	2.82

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の役職の異動は、次のとおりであります。

新役名及び職名		旧役名及び職名		氏名	異動年月日
専務取締役	営業本部副本部長兼 大阪支店長	専務取締役	大阪支店長	西澤 良	令和元年7月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(令和元年10月1日から令和元年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成31年4月1日から令和元年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,394,535	6,959,581
受取手形及び売掛金	2,336,768	2,432,795
電子記録債権	818,646	763,975
商品及び製品	1,591,272	1,851,239
仕掛品	119,596	153,634
原材料及び貯蔵品	257,998	240,322
その他	71,660	81,144
貸倒引当金	11,215	11,428
流動資産合計	11,579,264	12,471,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,820,741	1,731,890
土地	3,512,107	3,273,547
その他(純額)	733,555	675,982
有形固定資産合計	6,066,404	5,681,420
無形固定資産	111,703	106,512
投資その他の資産		
投資有価証券	1,190,842	1,266,378
その他	374,830	365,330
貸倒引当金	31,055	25,430
投資その他の資産合計	1,534,617	1,606,278
固定資産合計	7,712,725	7,394,211
資産合計	19,291,989	19,865,476



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,484,348	1,663,310
短期借入金	173,839	153,181
未払法人税等	55,017	175,478
賞与引当金	220,129	112,408
その他	346,890	388,629
流動負債合計	2,280,225	2,493,010
固定負債		
長期借入金	464,680	376,452
役員退職慰労引当金	342,015	369,449
退職給付に係る負債	441,970	461,472
その他	158,516	168,323
固定負債合計	1,407,182	1,375,697
負債合計	3,687,408	3,868,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,231,962	1,231,962
利益剰余金	12,481,196	12,834,820
自己株式	150,028	150,028
株主資本合計	15,060,080	15,413,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,782	434,426
為替換算調整勘定	87,080	58,563
その他の包括利益累計額合計	455,862	492,990
非支配株主持分	88,637	90,074
純資産合計	15,604,580	15,996,769
負債純資産合計	19,291,989	19,865,476

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	7,316,009	7,331,199
売上原価	5,415,753	5,196,172
売上総利益	1,900,256	2,135,027
販売費及び一般管理費	1,825,225	1,795,411
営業利益	75,030	339,616
営業外収益		
受取利息	496	487
受取配当金	34,697	40,118
受取賃貸料	32,331	32,948
貸倒引当金戻入額	9,224	5,411
為替差益	5,069	8,866
持分法による投資利益	11,942	-
その他	5,919	8,148
営業外収益合計	99,682	95,980
営業外費用		
支払利息	3,929	3,274
持分法による投資損失	-	2,443
その他	504	699
営業外費用合計	4,433	6,416
経常利益	170,279	429,179
特別利益		
固定資産売却益	305	326,469
投資有価証券売却益	-	26,053
受取保険金	6,476	2,555
特別利益合計	6,781	355,078
特別損失		
固定資産除売却損	6,781	615
会員権評価損	600	-
たな卸資産廃棄損	6,506	-
その他	50	-
特別損失合計	13,938	615
税金等調整前四半期純利益	163,122	783,642
法人税等	70,796	213,723
四半期純利益	92,325	569,918
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失( )	5,823	1,437
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,149	568,480

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
四半期純利益	92,325	569,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,660	65,644
為替換算調整勘定	26,891	28,517
その他の包括利益合計	124,551	37,127
四半期包括利益	32,226	607,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,402	605,608
非支配株主に係る四半期包括利益	5,823	1,437

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が当第3四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
受取手形	58,878千円	39,691千円
電子記録債権	44,956	44,059
支払手形	1,551	2,752

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
減価償却費	289,243千円	236,096千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月28日 定時株主総会	普通株式	107,428	100	平成30年3月31日	平成30年6月29日	利益剰余金
平成30年11月19日 取締役会	普通株式	107,428	100	平成30年9月30日	平成30年12月3日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和元年6月26日 定時株主総会	普通株式	107,428	100	平成31年3月31日	令和元年6月27日	利益剰余金
令和元年11月18日 取締役会	普通株式	107,428	100	令和元年9月30日	令和元年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその他製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその他製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
1株当たり四半期純利益	91円36銭	529円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	98,149	568,480
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	98,149	568,480
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,074	1,074

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

令和元年11月18日開催の取締役会において、定款第43条の規定に基づき、令和元年9月末現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を支払う旨決議し、配当を行っております。

1株当たりの中間配当金 100円00銭  
 中間配当金総額 107,428千円  
 支払請求の効力発生日及び支払開始日 令和元年12月2日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

令和2年2月14日

イワブチ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤	昇	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	成島	徹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイワブチ株式会社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(令和元年10月1日から令和元年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成31年4月1日から令和元年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イワブチ株式会社及び連結子会社の令和元年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。